

## 序章 東日本大震災の概要と本市の被害状況



【東日本大震災の概要】

平成23年3月11日の14時46分頃に三陸沖（宮城県牡鹿半島の東南東130km付近）を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生した。地震の規模はモーメントマグニチュード（Mw）9.0で、宮城県北部で最大震度7を観測するなど、日本で観測史上最大の地震である。地震による人的被害は、平成24年9月28日付総務省消防庁の発表によると、死者18,131人、行方不明2,829人、負傷者6,194人である。

この地震により発生した10m以上の津波により、東北地方と関東地方の太平洋沖に大きな被害がもたらされた。また、地震の揺れや津波だけでなく、液状化現象や地盤沈下なども発生し、各種ライフラインに影響を与えた。

また、地震により発生した津波に襲われた東京電力福島第一原子力発電所では、電源の喪失により原子炉の冷却ができなくなり、1号機と3号機でメルトダウン（炉心溶融）が発生し、さらに水素爆発により原子炉建屋が破壊され、放射性物質が漏洩してしまうという事態に至った。

地震の影響は原子力発電所だけにとどまらず、火災発電所等へも被害をもたらした。これにより、東京電力管内では深刻な電力不足状態に陥り、計画停電が実施されることになった。

地震や地震により発生した津波による被害、また原子力発電所での放射性物質の漏洩などの影響により、復興庁の発表によると平成24年12月6日時点で約32万人もの被災者が、避難生活をおくっている。



岩手県大槌町（平成23年5月）

**【本市の被害状況】**

本市では、東北地方太平洋沖地震により震度5弱の揺れが発生したが、下表のとおり大きな被害はでなかった。

しかし、地震の影響により公共交通機関が運行を停止し、本市の中心市街地である八王子駅周辺では多くの帰宅困難者が発生した。また、地震の影響による計画停電の実施や、地震や津波そして原子力発電所からの放射性物質の漏洩により、被災地から避難を余儀なくされた方又は自主的に避難してくる避難者への支援など、様々な対応を行うこととなった。

東日本大震災における被害状況

		全国	東京都	八王子市
人的被害	死者 (人)	18,131	7	0
	行方不明 (人)	2,829	0	0
	負傷者 (人)	6,194	117	0
	重症 (人)	694	20	0
	軽傷 (人)	5,035	97	0
	程度不明 (人)	195	0	0
住家被害	全壊 (棟)	123,391	17	0
	半壊 (棟)	265,096	195	0
	一部損壊 (棟)	743,298	4,858	56
	床上浸水 (棟)	20,580	0	0
	床下浸水 (棟)	15,629	0	0
非住家被害	公共建物 (棟)	20,283	405	0
	その他 (棟)	37,645	701	3
火災 (件)	330	35	1 (ボヤ火災)	

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第146報)」(総務省消防庁)より

**市施設の被害** (軽微な被害のため、国等へ報告する被害には該当せず)

- ・本庁舎7, 8階にてキャビネット転倒
- ・甲の原体育館屋根断熱材一部落下
- ・市営斎場エントランス天井2枚落下
- ・学校施設蛍光灯破損、ガラス破損、天井ボード破損、給排水管等破損、エキスパンションジョイント破損等あり